

第8回農業塾の内容（概要）

1 限目 講義「農業における自然と人間の関係性」

講師：大原興太郎（三重スローライフ協会理事長）

2 限目 講義「ナス科の野菜（ナス）」

講師：森川茂幸

1 ナスの特徴

- ・ナスはインドが原産で、日本には中国を経てかなり古い時代に伝えられた。
- ・ナスの旬は6～9月でこの時期のナスは味がよい上に価格が安い。
- ・ナスはあまり低い温度（5℃以下）に触れると茶色のくぼみができ、そこから腐っていく（風邪ひき現象）。
- ・ナスの紫色はアントシアニンで、この物質の持つ抗酸化作用に最近注目が集まっている。

2 栽培

- ・ナスの種子は、ぬるま湯に約10時間浸けてから播くと、適温なら1週間ほどで発芽する。
- ・4月下～5月中に定植すれば、6～11月に収穫することになる。
- ・栽培初期から多肥（特にチッソ）を好むとともに、十分な水分を供給することが必要である。
- ・第1番果の直下～3節下位節の葉腋から発生した第1側枝を3～4本残し、その他の腋芽は早めに摘除する。
- ・更新剪定する場合は、各主要な側枝の数節を残して切り戻し、その後先端から出る強勢な枝を伸ばす。

3 収穫

- ・長卵～中長品種は80g程度、大長ナスでは100～120gを目安に収穫する。
- ・開花から収穫までの日数は、丸～中長品種で15～25日、大長ナスで30日位である。
- ・保存温度は8～12℃がよく、水分の蒸発を防ぐためラップで包む。

3 限目 実習「ジャガイモの培土とサトイモの収穫」

講師：藤田育美、森川茂幸

- ・ジャガイモ畑の畦を除草を兼ねて軽く中耕し、発芽したジャガイモの株元に土寄せ（培土）しました。
- ・畑で越冬したサトイモを収穫しました。
- ・収穫したサトイモの一部は、種芋として栽培に使うことにしました。